

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		在宅障害者支援事業費 [障害者食事サービス事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号	7	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	障害福祉		課		障害福祉		係	課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)	55		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 買物や炊事が困難な障害者のみの世帯 身体障害者手帳2級以上、愛の手帳4度以上、 精神保健福祉手帳2級以上の者				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 身体障害者手帳2級以上、愛の手帳4度以上、 精神保健福祉手帳2級以上の者				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 安心して在宅生活を送れるようにする。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用者数/対象指標の人数				
	③ そのために何をしましたか。 委託事業者による昼食の配食と安否確認。 自己負担：一般世帯=500円、生活保護世帯=370円 実際の単価との差額と生活保護世帯補助分(130円)を 市が負担する。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 利用者数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2,596	2,691	2,779			
	成果指標	②の数値	%	0.3	0.2	0.3			
	目標	②の目標値		目標値設定の考え方 申請に基づき対象者に対して適正なサービスを提供する。					
	活動指標	③の数値	人	10	8	7			
3 経費	事業費(実績)		円	155,835	203,234	212,020	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	155,835	203,234	212,020			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05			
		所要人数(再任用)	人						
職員人件費(再任用以外)		円	415,500	419,000	412,500				
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	571,335	622,234	624,520				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成16年度						
	(2) 環境の変化		制度開始当初は、社会福祉協議会の事業への補助として実施(高齢者と一体の事業)。昼食の配食であるが配食日数を平成22年度から週7日に拡充した。民間でも配食サービスが実施されるようになったため、平成28年度から民間事業者への委託事業とした。 民間の食事提供企業による同様のサービスが拡充しており、市が実施することの必要性について研究することが必要である。						

